本エンジン取扱説明書について

エンジンに添付される多言語版エ ンジン取扱説明書から日本語ペー ジのみを抜粋したものになります。



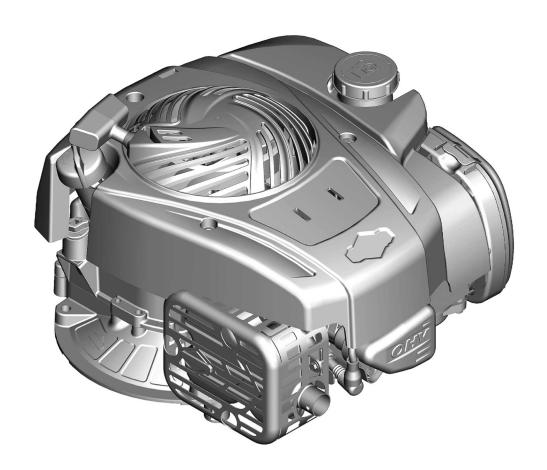
en Operator's Manual

- (id) Panduan Operator
- (ia) 運転者の使用説明書

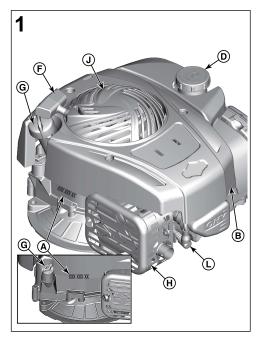
- km សៀ វភៅណែ នាំអ្នក ប្រតិបត្តិការ
- ® 작동자 설명서
- ms Manual Operator
- th คู่มือผู้ใช้งาน
- Sổ tay Vận hành
- zh 操作员手册

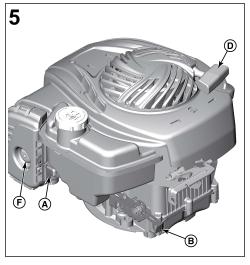
Models: 80000

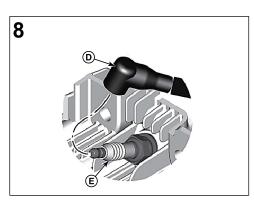
90000

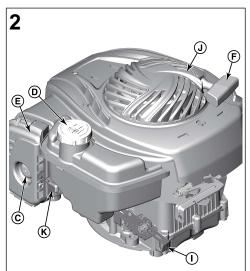


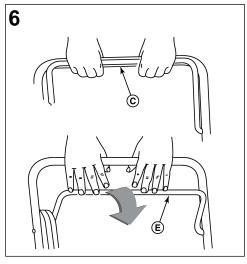


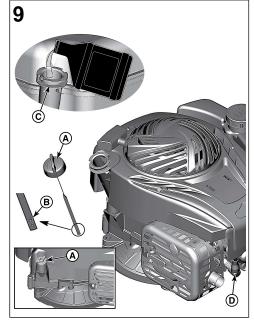


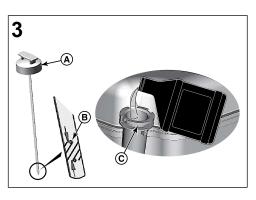


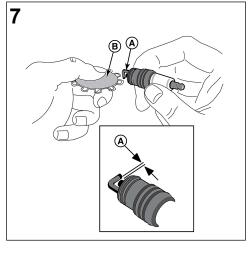


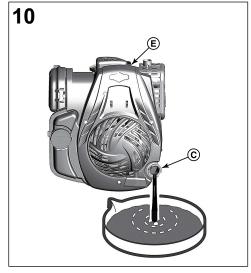


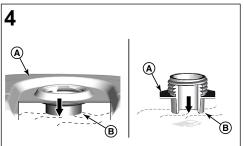
















著作権 © Briggs & Stratton Corporation, Milwaukee, WI, USA.著作権所有。

本マニュアルには、エンジンに関連した危険とリスクその避け方について注意を促す安全情報を含みます。又、本マニュアルにはエンジンの正しい使用方法と手入れ方法とについての指示が含まれます。Briggs & Stratton Corporationではエンジンがどの様な器具に動力を与えるかが分からない場合もあるので、本指示と器具の指示との解読と理解が重要です。将来的な参照の為に、この指示を保存して下さい。

注本マニュアル中の諸図については、参考の為に提供されるものであって、お持ちの特定のモデルと異なる場合がありあます。ご質問については最寄りのディーラーにご連絡ください。

交換部品および技術的にお手伝い可能な事について、下記にエンジン・モデル、タイプ、およびコード番号を購入期日と合わせてご記録下さい。これらの番号はお持ちのエンジンにあります(特色とコントロールの項目参照)。

| 購入期日                 |  |
|----------------------|--|
| エンジン・モデル - タイプ - トリム |  |
| エンジン連番               |  |

一部のエンジンでは二次元パーコードをお探し下さい。二次元解読可能な装置で見ると、コードによりこの製品についてのサポート情報がある当社のウェブサイトが現れます。データの国ではオンラインのサポート情報の提供が無い可能性があります。



## 運転者の安全

### 安全警告シンボルおよびシグナル・ワード

安全警告シンボル は人身傷害の起因となる危険についての安全情報を示します。 シグナル・ワード(危険、警告、注意)は、警告シンボルと共に傷害の可能性および重篤性の可能性を示します。 更に、危険シンボルは危険の種類を表すために利用可能です。

▲ 危険は、これが避けられなかった場合に、死亡あるいは重篤な傷害が生じる可能性を表します。

▲ 警告は、これが避けられなかった場合に、死亡あるいは重篤な傷害が生じる可能性 を表します。

▲ 注意は、これが避けられなかった場合に、軽度あるいは中程度の障害が生じる可能性を表します。

注意は、商品に損傷が起きる可能性のある状況を表します。

## 危険記号および意味

| 記号     | 意味                                | 記号 | 意味  |  |  |
|--------|-----------------------------------|----|---|--|--|
|        | 人が怪我をする可能性のあ<br>る危険についての安全情<br>報。 |    | ユニットの運転およびサービス<br>の前に操作者用の説明書を読<br>み、理解して下さい。 |  |  |
| J. Chy | 火災の危険性                            |    | 爆発の危険性  |  |  |
|        | ショックの危険性                          | 8  | 有毒蒸気の危険性                                      |  |  |
|        | 表面の高温による危険性                       |    | 騒音の危険性 - 長期の使用の際<br>は耳の保護を推奨します。              |  |  |

| 記号 | 意味                     | 記号 | 意味         |
|----|------------------------|----|------------|
|    | 飛翔物体の危険性 - 眼の保護をして下さい。 |    | 爆発の危険性     |
| *  | 凍傷の危険性                 | -  | キックバックの危険性 |
| -  | 切断の危険性 - 動く部品          |    | 化学物質の危険性   |
|    | 高温の危険性                 |    | 腐食         |

### 安全のために



#### 警告

この製品の部品及びその付属品の一部には、カリフォルニア州において発がん性、 催奇性、その他の生殖有害性を起こす事が知られている化学物質が含まれています。 取扱いの後は手を洗って下さい。



#### 警告

この製品から出るエンジン排気には、カリフォルニア州において発がん性、催奇性、 その他の生殖有害性を起こす事が知られている化学物質が含まれています。



### 警告

本製品は、次の通りのものを駆動するため作成されるのではありません: ファンカート、ゴーカート、子供のリクリエーション用又はスポーツ用全地形対応車(ATV)、モーターバイク、ホバークラフト、飛行製品、もしくは、Briggs & Strattonが承認していない競争に使用する車両。 競走用車両向け製品についての情報は、

www.briggsracing.comをご参照下さい。ユーティリティーでの使用やside-by-side型全地形対応車への使用については、Briggs & Strattonエンジン・アプリケーションセンター(1-866-927-3349)へご連絡下さい。 不適切なエンジンの使い方は深刻な傷害や死亡に繋がります。

### 通知

このエンジンはオイルなしでBriggs & Stratton から出荷されました。 エンジンを始動する前に、このマニュアルの指示に従ってオイルを追加して下さい。 エンジンはオイルなしで起動した場合は、修理を超えて破損すると保証の対象にはなりません。





燃料とその蒸気は極めて引火性と爆発の恐れがあります。

火災や爆発は、重度の火傷や死亡を引き起こす可能性があります。

### 燃料注入時

- フューエルキャップを取る前に、エンジンを切っておき、冷却させるため少なくとも2分間放置して下さい。
- 燃料タンクには屋外や十分に換気している場所で燃料を入れて下さい。
- 過剰充填にならいように注意してください。 燃料の膨張する余裕を持たせるには、燃料タンクのフィラーネックを超えて充填しないで下さい。
- 燃料はスパーク、覆われていない炎、パイロット・ランプ、熱、その他の引火の 原因となるものから遠ざけてください。
- ひびや漏れがないか定期的に燃料ライン、タンク、キャップ、および金具を確認します。必要に応じて交換します。
- 燃料がこぼれた場合は、蒸発するまでエンジンの始動をお待ちください。

### エンジンの始動時

- スパーク・プラグ、マフラー、燃料キャップ、エア・クリーナー (装備されている場合)の適切な配置と固定を確認して下さい。
- スパークプラグを外した状態でエンジンのクランクを回さないでください。
- エンジンがガソリンを吸い込みすぎて点火しない場合は、(装備されていれば) チョークをOPEN / RUN の位置に設定し、(装備されていれば)スロットルを FASTの位置にしてエンジンが始動するまでクランクを回して下さい。

#### 作業機稼働時は

- 燃料がこぼれる角度まで、作業機やエンジンを傾けないでください。
- キャビュレーターのチョークでエンジンを停止しないで下さい。
- (備わっている場合)エアクリーナーのアセンブリや(備わっている場合)空気フィルタを取り外した状態で、決してエンジンを起動・運転なさらないで下さい。

### オイル交換時

• 上部のオイル充填チューブからオイルを排出する際には、燃料タンクは空でないと燃料が漏れて火災や爆発を起こす可能性があります。

#### メンテナンス

メンテナンスのために、作業機やエンジンを傾けておく必要がある際には、(エンジンに取り付けられる場合)燃料タンクが空でないと燃料が漏れて火災や爆発を起こす可能性があります。

#### 作業機の運送時

燃料タンクは空とし、燃料シャットオフバルブをCLOSEDの位置にて運搬してください。

#### 燃料や燃料の入った機器を保管する時

 燃料の蒸気に着火する可能性があるため、炉、ストーブ、温水器などパイロット ライトやその他の着火源を持つ家電類から、離れた場所に保管して下さい。





エンジンを起動すると火花が生じます。

火花で近くにある可燃性ガスが着火する可能性があります。

その結果、爆発や火災を起こすおそれがあります。

- 周辺で天然ガスやLPガスが漏れている場合、決してエンジンを起動しないで下さい。
- 圧縮型の起動用液体は、蒸気が可燃性のため、使用しないで下さい。





有毒ガスの危険。 エンジンの排気には一酸化炭素が含まれています。これは僅か数分で人間を死に至らしめる有毒ガスです。 このガスは透明・無臭・無味です。 たとえ排気の匂いがしなくても、一酸化炭素に曝されることは有りえます。 この製品の使用中に気分が悪くなったり、目眩がしたり、力が入らなかったりしたら、直ちに運転を停止して、新鮮な空気にあたって下さい。 医師の診察を受けて下さい。 一酸化炭素中毒にかかった疑いがあります。

- 一酸化炭素ガスを潜在的に蓄積して占有スペースに向かっているリスクを軽減するために、窓、ドア、通気口から外部遠く本製品の操作して下さい。
- バッテリ駆動一酸化炭素アラーム、またはバッテリバクアップがあるプラグイン 一酸化炭素アラーム製造元の指示に従ってインストールして下さい。煙アラーム は一酸化炭素ガスを検出ことはできません。
- 喚起のために窓やドアを開けても、ファンを使いようしても、家やガレージや地下室や小屋または他の部分的に囲まれたスペース内でこの製品を絶対に実行しないで下さい。一酸化炭素は速やかにこれらのスペースに構築する恐れがありますし、本製品を遮断した後であっても、数時間残る恐れがあります。
- 常に,占有スペースから風下本製品を置き、エンジン廃棄を占有スペースから離れた向かって下さい。





起動コードの急速な巻き戻し(キックバック)により、手を外すより早く、手や腕がエ ンジンの方へ引っ張られることがあります。

骨折、挫傷、痣、捻挫の可能性があります。

- エンジンを起動する時は、起動コードを抵抗を感じる位置までゆっくりと引き、 その後、すばやく引いて、キックバックを防いで下さい。
- エンジンを起動する前には、他の機器やエンジンロードは全て取り除いて下さい。

ブレード、インペラ、プーリ、スプロケット等の直接的取り付けている機器部品はしっかりと固定されている必要があります。



回転部品は、手、足、髪、衣類、アクセサリー類に接触したり、絡んだりすることがあります。

身体の切断や重篤な裂傷が起きる危険があります。

- 保護具を身につけて運転して下さい。
- 手足を回転部品の近くに置かないで下さい。
- 長い髪は結んでおき、アクセサリー類は身につけないで下さい。
- 絡まる危険があるので、緩い衣類やヒモが垂れる服装は避けて下さい。





運転中のエンジンにより熱が発生します。 エンジン部品、特にマフラーは、非常に高温になります。

接触による重度の熱傷を負う可能性があります。

木の葉、草、動物の毛等、可燃性のゴミには火が付くことがあります。

- 触れる前に、マフラー、エンジン・シリンダーおよびフィンが冷めるようにして下さい。
- マフラー周辺とシリンダー周辺に溜まったゴミを取り除いて下さい。
- 森林や草原で、スパークアレスターの無い排気システムを持つエンジン、あるいは、スパークアレスターが適正に機能してない排気システムを持つエンジンを使用・運転するのは、カリフォルニア州の公共資源規則第4442項に違反します。他の州や合衆国の裁判管区にも目様の法規があります。このエンジンの排気システム用に設計されたスパークアレスターをご希望の際は、使用機器のメーカー、小売店、ディーラーにご相談下さい。



不用意にスパークが発生すると、火災や感電の危険があります。

不用意に起動すると、絡まり事故、身体の切断、裂傷の危険があります。

### 火災の危険

### 調整や修理を行う前に:

- スパークプラグのワイヤを取り外し、スパークプラグから離して置きます。
- ・ 電池の陰極を外します(電気起動式のエンジンのみ)。
- ツールは適切なものだけをお使い下さい。
- エンジン速度を上げるために、ガバナのスプリング、リンク、その他の部品を改造しないで下さい。
- 交換部品は元の部品と同じ設計のものとし、元の部品と同じ位置に取り付ける必要があります。それ以外の部品では性能が出なかったり、機器のダメージを起こしたり、傷害を起こす危険があります。
- 運転中フライホイールが破損するおそれがあるため、フライホイールをハンマー や硬い物で叩かないで下さい。

### スパークのテストをする時:

- 許可されたスパークプラグテスターを使用して下さい。
- スパークプラグを取り外した状態で、スパークの点検をしないで下さい。

# 機能と制御部

## エンジン制御部

イラスト (図:1, 2)をあなたのエンジンと比べて、様々な機能や制御部の位置をよく理解して下さい。

- A. エンジンID番号 型式- タイプ コード
- B Tンジン·シリアル番号
- C. (備わっている場合)プライマー
- D. 燃料タンクおよびキャップ
- E. エアクリーナー
- F. 起動コードハンドル

23

- G. ディップスティック
- H. マフラー、(備わっている場合)マフラーガード、(備わっている場合)スパークアレ スタ
- I. (備わっている場合)スロットル制御部
- J. 空気取入れグリル
- K. (備わっている場合)停止スイッチ
- L. スパークプラグ

### エンジン制御部の記号と意味

| 記号       | 意味                   | 記号 | 意味            |
|----------|----------------------|----|---------------|
| <b>ॐ</b> | エンジン速度 - 速い          | مب | エンジン速度 - 遅い   |
| STOP     | エンジン速度- 停止           | ΙΟ | オン - オフ       |
|          | エンジン起動ーチョーク閉         |    | エンジン起動- チョーク開 |
|          | 燃料キャップ<br>燃料遮断バルブ-開  |    | 燃料遮断バルブ-閉     |
|          | 燃料レベル-溢れさせない<br>で下さい |    |               |

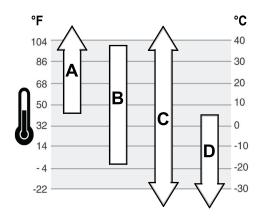
## 運転

### 推奨のオイル

オイル容量仕様の項目参照。

最適な性能の為には、Briggs & Stratton Warranty Certified オイルを推奨します。サービスSF, SG, SH, S以上の使用に分類されていれば、その他の高品質な洗浄油が許容されます。特別な添加物は使用しないで下さい。

エンジンにおける正しいオイル粘度は、外気温により決定されます。表より想定される 外気温に最適な粘度を選択して下さい。



| Α | <b>SAE 30</b> -40 °F (4 °C) 以下では、SAE 30 の使用によりエンジンの始動が難しくなります。                                |
|---|---|
| В | <b>10W-30 -</b> 80 °F (27 °C) 以上では、10W-30の使用によりオイル消費が増加する<br>  可能性があります。より頻繁にオイル・レベルを確認して下さい。 |
| С | 合成オイル 5W-30   |

### オイルレベルの点検

図をご参照下さい: 3

オイルを追加・点検する前に

- エンジンが水平であることを確認して下さい。
- オイル注入部のゴミを清掃して下さい。
- 1. ディップスティックを抜き出して(A, 図 3) 清潔な布で拭いて下さい。
- 2. ディップスティックを取付けて、締めます(A. 図3)。
- ディップスティックを抜き出して、オイルレベルを調べます。正しいオイルレベルは、ディップスティックのインジケーターの一番上です(B.図3)。
- 4. 液位が低い時は、エンジンオイル注入部へオイルをゆっくりと足し入れます(C, 図3)。注ぎ過ぎないよう注意して下さい。オイルを注ぎ足した後、1分間待って、もう一度液位を点検します。
- 5. ディップスティックをもう一度取り付けて締め付けます(A, 図3)。

## 低オイル保護システム (装備の場合)

一部のエンジンは低オイル・センサーを装備しています。オイルが低い場合は、センサーは警告灯を稼働するか、エンジンを停止させます。エンジンを停止し、再度エンジンを始動させる前に次の手順に従って下さい。

- エンジンの水平を確認して下さい。
- オイルのレベルを確認して下さい。オイルのレベルの確認参照。
- オイルのレベルは低い場合は、正しい量のオイルを加えて下さい。エンジンを始動させて、警告灯(装備の場合)が稼働されていない事を確認して下さい。
- オイルのレベルが低くない場合は、エンジンを始動しないで下さい。オイルの問題の訂正には、Briggs & Stratton認定のサービス・ディーラーにご連絡ください。

### 燃料の推奨

燃料はこの要求条件に適合する必要があります:

- 清潔で新しい無鉛ガソリン。
- 最低87オクタン/87 AKI (91 RON)。高地での使用は以下を参照して下さい。
- ガソリンに含まれるエタノール(ガソホール)は最大10%まで許容できます。

**通知** E15やE85などの承認されていないガソリンは利用なさらないで下さい。ガソリンに油類を混ぜたり、異なるタイプの燃料で運転できるようエンジンを改造したりなさらないで下さい。承認されていないガソリンを使うと、エンジン部品が破損しますが、この様な破損は保証の対象となりません。

ガム形成から燃料システムを保護するために、燃料に燃料安定剤を混ぜて下さい。保管を参照。燃料はどれも同じではありません。もし起動や性能に問題が生じたら、燃料の供給業者を変えるか、ブランドを変更して下さい。このエンジンはガソリンで運転する認可を受けています。このエンジンの排出制御システムはEM(エンジン改造)です。

### 高地

5 0 0 0 フィート(1524 m)以上の高地では、最低限85 オクタン/85 AKI (89 RON) の ガソリンが許容されます。

キャブレター・エンジンでは、高地調整を行って性能を保って下さい。この調整を行わない運転では、性能の劣化、燃料消費の増加、および排気の増加が生じます。高地調整の情報については、Briggs & Stratton認定のサービス・ディーラーにご連絡下さい。2,500フィート (762 m) 以下の高度では、高地調整の状態でのエンジンの運転は推奨しません。

電子燃料注入 (EFI) エンジンでは、高地調整は不要です。

## 燃料の追加

図参照 4



燃料およびその蒸気は非常に燃えやすく、爆発の危険性があります。

火災または爆発による重傷な火傷や死亡の可能性があります。

### 燃料の追加に際して

- 燃料キャップを取り除く前に、エンジンを停止し少なくとも2分間は冷却して下さい。
- 燃料タンクは屋外または良く換気された場所で充填して下さい。
- 燃料タンクを一杯にし過ぎないで下さい。燃料の膨張を考慮して、燃料タンクの頸部の下部以上には充填しないで下さい。

- 燃料は火花、裸火、パイロットランプ、熱及びその他の引火元から離して下さい。
- 燃料ライン、タンク、キャップ、装具についてひび割れや漏れを頻繁に確認して下さい。必要に応じて交換して下さい。
- 燃料がこぼれた場合は、蒸発を待ってエンジンを開始して下さい。
- 燃料キャップ区域の埃とゴミと清掃して下さい。燃料キャップを取り外して下さい。
- 2. 燃料タンク(図A 4)に燃料を充填して下さい。燃料の膨張を考慮して、燃料タンク の頸部の下部以上には充填しないで下さい(B)。
- 3. 燃料キャップを再設置して下さい。

### エンジンの起動と停止

図参照:5.6

### エンジンの起動





起動コードの急速な巻き戻し(キックバック)により、手を外すより早く、手や腕がエンジンの方へ引っ張られることがあります。

その結果、骨折、打撲傷、捻挫を引き起こす場合があります。

• エンジンを起動する時は、起動コードを抵抗を感じる位置までゆっくりと引き、そ の後、すばやく引いて、キックバックを防いで下さい。





燃料とその蒸気は極めて可燃性が高く、爆発し易い性質を持っています。

火災や爆発で重篤な火傷を負ったり、死亡に至ることもあります。

#### エンジン起動時

- スパークプラグ、マフラー、燃料キャップ、(備わっている場合)エアクリーナーが 正しい位置にちゃんと固定されていることを確認して下さい。
- スパークプラグを取り外した状態でエンジンのクランクを回さないで下さい。
- エンジンがオイルを吸い込み過ぎた時は、(備わっている場合)チョークをOPEN / RUN 位置に設定し、(備わっている場合)スロットルをFAST位置へ動かし、エンジンが起動するまでクランクを回します。





有毒ガスの危険エンジンの排気には一酸化炭素が含まれています。これは僅か数分で人間を死に至らしめる有毒ガスです。このガスは透明・無臭・無味です。たとえ排気の匂いがしなくても、一酸化炭素に曝されることは有りえます。この製品の使用中に気分が悪くなったり、目眩がしたり、力が入らなかったりしたら、直ちに運転を停止して、新鮮な空気にあたって下さい。医師の診察を受けて下さい。一酸化炭素中毒にかかった疑いがあります。

- この製品は屋外でのみ運転して下さい。人の居住する空間に一酸化炭素ガスが貯留 ・滞留する危険を避けるため、運転は窓、ドア、換気孔、ベントから遠く離れた場所で行って下さい。
- メーカーの指示に従い、電池式一酸化炭素警報器や、予備電池の付いた差込式一酸 化炭素警報器を設置して下さい。煙探知器では一酸化炭素ガスは検出できません。
- たとえ換気用のファンが有ったり、扉や窓を明けている場合でも、この製品は屋内、ガレージ、地下室、床下、小屋などの部分的に閉鎖された空間では運転しないで下さい。この様な空間に一酸化炭素は短時間で貯まり、運転を停止しても、その後何時間も滞留することがあります。
- この製品は常に風下に置き、人がいる場所から遠い場所にエンジンの排気ガスが出るように注意して下さい。

通知 このエンジンはオイルが空の状態でBriggs & Strattonから出荷されます。エンジンを起動する前に、必ずこのマニュアルの指示に従ってオイルを注入して下さい。オイルを入れずにエンジンを起動すると、修繕できないほどのダメージが生じます。また、この様なダメージは保証の対象外となります。

### 起動システムの判断

エンジンを起動する前に、あなたのエンジンに備わっている起動システムがどのタイプ か調べる必要があります。エンジンには次の内いずれかのタイプの起動システムが備わっ ています。

- レディースタート®システム: これは温度制御による自動チョーク機能です。このタイプの場合、マニュアル式のチョークやプライマーは付いていません。
- プライマーシステム:このタイプは温度が低い環境での起動で使用する赤色プライマーが付いています。マニュアル式のチョークは付いていません。

エンジンを起動する時は、ご自身の起動システムのタイプに応じた指示に従って下さい。

注機器にはリモコン装置が付いている場合もあります。リモコン装置の位置と操作法については、機器マニュアルをご参照下さい。

### レディースタート® システム

- 1. エンジンオイルを点検します。オイルレベルの点検のセクションをご参照下さい。
- 2. (備わっている場合)機器の駆動制御部が切り離されていることを確認します。
- 3. (備わっている場合)ストップスイッチ(A,図5)をONの位置へ押します。
- 4. (備わっている場合)スロットル制御部(B, 図5)をFAST位置へ動かします。エンジンをFAST位置で運転します。
- 5. (備わっている場合)エンジン停止レバー(C, 図 6)をハンドルに向かうように持ちま
- 6. 起動コードハンドルをしっかり握ります(D,図5)。起動コードハンドルを抵抗が感じられるまでゆっくりと引き、その後、素早く引きます。



### 警告

起動コードの急速な巻き戻し(キックバック)により、手を外すより早く、手や腕がエンジンの方へ引っ張られることがあります。その結果、骨折、打撲傷、捻挫を引き起こす場合があります。エンジンを起動する時は、起動コードを抵抗を感じる位置までゆっくりと引き、その後、すばやく引いて、キックバックを防いで下さい。

注何度か試してもエンジンが起動しない時は、最寄りのディーラーに連絡するか、ウェブサイトBRIGGSandSTRATTON.com 又は電話1-800-233-3723 (米国)でお問合せ下さい。

### プライマーシステム

- 1. エンジンオイルを点検します。オイルレベルの点検のセクションをご参照下さい。
- 2. 機器の駆動制御部が備わっている場合は、切り離されていることを確認して下さい。
- 3. (備わっている場合は)停止スイッチを押して(A, 図5)ONの位置にして下さい。
- 4. (備わっている場合は)スロットル制御部(B, 図 5)を動かしてFAST位置にします。エンジンをFAST位置で運転します。
- 5. 赤いプライマー(F, 図 5)を3回押します。

注 通常、暖かい状態のエンジンを再起動する時は、プライミングは不要です。

注プライマーをあまり何度も押すと、余分な燃料がエンジンに溢れて起動しにくくなります。

- 6. (備わっている場合)エンジン停止レバーを(C, 図6)ハンドルに向けて握ります。
- 7. 起動コードハンドルをしっかり持ちます (D, 図 5)。起動コードハンドルを抵抗を感じる位置までゆっくりと引き、その後、すばやく引きます。



### 警告

起動コードの急速な巻き戻し(キックバック)により、手を外すより早く、手や腕がエンジンの方へ引っ張られることがあります。その結果、骨折、打撲傷、捻挫を引き起こす場合があります。エンジンを起動する時は、起動コードを抵抗を感じる位置までゆっくりと引き、その後、すばやく引いて、キックバックを防いで下さい。

注何度か試してもエンジンが起動しない時は、5,6,7の手順を繰り返して下さい。それでも起動しない時は、最寄りのディーラーに連絡するか、ウェブサイト BRIGGSandSTRATTON.com 又は電話1-800-233-3723 (米国)でお問合せ下さい。

### エンジンの停止

(備わっている場合)エンジン停止レバー:エンジン停止レバーを緩めます(E, 図6)。

(備わっている場合)停止スイッチ:停止スイッチ(A, 図5) を押してOFF位置にします。

(備わっている場合)スロットル制御部:スロットル制御部(B, 図5)をSTOP位置へ動かしま

## メンテナンス

**通知** 保守中にエンジンを傾ける際は、燃料タンクがエンジンに搭載されている場合は空にし、スパークプラグ側を上にして下さい。燃料タンクが空では無い状態でエンジンがどの方向にでも傾けられると、オイルまたはガソリンによるエア・フィルターおよび/もしくはスパークプラグの汚染によりエンジンの始動が困難になる可能性があります。



**警**告

燃料タンクがエンジンに搭載されている場合にユニットを傾ける必要のある保守を行 う場合には、燃料が漏れ出して火災や爆発を起こす可能性があるのでタンクを空にし て下さい。

エンジンおよびエンジンの部品の保守とサービスについては、Briggs & Strattonの認定されたサービス・ディーラーに依頼される事をお勧めします。

**通知** 正常な操作のためには本エンジンの構成部品が適所に有る必要があります。



警告 🚄



不用意な火花は、火災や電気ショックを起こす可能性があります。

不用意なエンジンの始動により、絡まり、外傷性切断、裂傷が生ずる可能性があります。

#### 火災の危険性

#### 調整や修理を行う前には、

- スパークのワイヤを取り外し、スパークプラグからは離しておいて下さい。
- バッテリーを陰極で取り外して下さい(電動始動のエンジンのみ)
- 適切なツールのみを使用して下さい。
- エンジン速度の増加の為に、ばね調速機、リンク、その他の部品を改ざんしないで下さい。
- 交換部品が同じ設計のものであり、元の部品と同じ位置への設置される事を確認して下さい。その他の部品の場合は、同じ性能は得られず、ユニットの破損や怪我を招く可能性があります。
- フライホイールは後に運転中に割れる可能性があるので、金槌や硬い物体でフライホィールを打たないで下さい。

#### 火花の試験をする場合、

- 認可されたスパークプラグのテスターを使用して下さい。
- スパークプラグを取り外した状態で、火花の点検を行わないで下さい。

### 排出規制管理サービス

排出規制用の装置・システムの保守、交換、修理は、オフロードエンジンを扱う修理施設 や修理人が実施できます。ただし、排出規制管理サービスを「無料」で受ける場合は、 認定ディーラーがこれを実施する必要があります。排出規制鑑定書をご参照下さい。

## メンテナンスのスケジュール

### 最初の5時間

• オイルの交換

### 8時間ごと、或いは毎日

- エンジン・オイル・レベルの点検して下さい
- マフラー及びコントロール付近を清掃して下さい
- 吸気グリルを清掃して下さい

### 25時間ごと、或いは年に一回

• エア・フィルター <sup>1の清掃</sup>

### 50時間ごと、或いは年に一回

- エンジンオイルの交換して下さい
- 排気システムをサービスして下さい

### 年に一回

- スパーク・プラグを交換して下さい
- エア・フィルターを交換して下さい
- 冷却システムのサービス<sup>1</sup>
- ・ バルブのクリアランス点検<sup>2</sup>

 $^1$ 埃の多い状態や、浮遊するゴミがある場合にはより頻繁に清掃して下さい。

2 性能上の問題が無い場合は不要です。

## キャブレターとエンジン速度

キャブレターやエンジン速度を決して調節なさらないで下さい。キャブレターは大半の 条件下で効率良く運転できるよう工場で設定されています。ガバナのバネ、リンク部品、 その他の部品を改造してエンジン速度を変えないで下さい。調節が必要な場合は、Briggs & Strattonの認定サービスディーラーへサービスをお申し付け下さい。

通知 設備メーカーでは、設備に取り付けるエンジンの最高速度を指定しています。この速度を決して超えないで下さい。設備の最高速度や工場で設定したエンジン速度が不明な時は、Briggs & Stratton の認定サービスディーラーへお問合せ下さい。設備の安全で正しい運転のために、エンジン速度を調節できるのは資格を持つサービス技術者のみです。

### スパーク・プラグのサービス

図参照

ワイヤゲージ(B)を使用してギャップ (A、図 7)を確認して下さい。必要に応じてギャップを再設定して下さい。スパーク・プラグを設置し、推奨トルクまで締めて下さい。ギャップの設定もしくはトルクについては、仕様の項目を参照して下さい。

注一部の地域では、地域の法律により点火信号を抑圧するレジスター・スパーク・プラグの使用が義務づけられています。本エンジンに最初にレジスター・スパーク・プラグが装備されていた場合には、交換部品も同じタイプにして下さい。

### 排気システムのサービス





運転中のエンジンは熱を生じます。エンジン部品、特にマフラーは非常に高温になり ます。

接触による重篤な高温火傷の可能性があります。

木の葉、草、低木の様な可燃性のゴミには火がつく可能性があります。

- 手を触れる前に、マフラー、エンジン・シリンダー、フィンを冷却させて下さい。
- マフラー区域およびシリンダー区域より、蓄積されたゴミを取り除いて下さい。
- 森林や低木や草に覆われた土地では、California Public Resource Code, Section 4442に定義された有効に作動している状態に保守されたスパーク・アレスターを 装備しない排気システムは、Section 4442の違反となります。他州、連邦管轄権下でも同様の法律が存在する可能性があります。本エンジンに設置された排気システム用に設計されたスパーク・アレスターの入手については、器具の元の製造者、販売者、或はディーラーにご連絡下さい。

マフラーおよびシリンダー区域より、蓄積されたゴミを取り除いて下さい。ひび割れ、腐食、その他の破損についてマフラーの点検を行なって下さい。装備されている場合には、デフレクターあるいはスパーク・アレスターを取り外し、破損と炭素による詰りを点検して下さい。破損が見つかった場合には、運転前に交換部品を設置して下さい。



### 警告

交換部品が同じ設計のものであり、元の部品と同じ位置への設置される事を確認して 下さい。その他の部品の場合は、同じ性能は得られず、ユニットの破損や怪我を招く 可能性があります。

## エンジンオイルの交換

図参照:8,9,10





燃料とその蒸気は非常に可燃性が高く、爆発し易い性質を持っています。

火災や爆発で重篤な火傷を負ったり死亡に至ることもあります。

エンジンの運転により熱が発生します。エンジン部品、特にマフラー部分は非常に高温になります。

触ると重症の熱傷を負うことがあります。

- 頂部のオイル注入チューブからオイルを抜く時、燃料タンクは必ず空にしておいて下さい。タンクにオイルがあると、燃料が漏れて火災や爆発を起こす危険があります。
- マフラー、エンジン気筒、フィンは熱が冷却してから触って下さい。

使用済みオイルは危険廃棄物であり、適切な方法で廃棄する必要があります。家庭ゴミと一緒に廃棄しないで下さい。安全な廃棄法やリサイクル施設については、自治体の管轄部署、サービスセンター、ディーラーにお問合せ下さい。

### オイル抜き

オイルは必ず頂部のオイル注入チューブから抜いて下さい。

- 1. エンジンを切ってまだ温度が高い時は、スパークプラグのワイヤ(D, 図8)を外し、 それをスパークプラグ(E)から離れた所に置いておきます。
- 2. ディップスティック(A,図9)を抜き取ります。
- 3. 頂部のオイル注入チューブからオイルを抜く時は(C,図10)、エンジンのスパークプラグ(E)側の端を上にしておきます。オイルを認定容器の中へ入れます。



### 警告

頂部のオイル注入チューブからオイルを抜く時、燃料タンクは空にしておく必要があります。空でない場合、燃料が漏れ出て、火災や爆発を引き起こす危険があります。 燃料タンクを空にするには、燃料切れでエンジンが停止するまで、エンジンを運転して下さい。

### オイルの追加

- エンジンが水平であることを確認して下さい。
- オイル注入部のゴミを清掃して下さい。
- オイル容量については仕様のセクションをご参照ください。
- 1. ディップスティックを抜き出して(A, 図 9) 清潔な布で拭いて下さい。
- 2. エンジンオイル注入部へオイルをゆっくりと足し入れます(C, 図9)。**注ぎ過ぎない** よう注意して下さい。オイルを注ぎ足した後、1分間待って、もう一度液位を点検 します。
- 3. ディップスティックをもう一度取り付けて締め付けます(A、図9)。
- 4. ディップスティックを抜き出して、オイルレベルを調べます。正しいオイルレベルは、ディップスティックのインジケーターの一番上です(B,図9)。
- 5. ディップスティックをもう一度取付けて、締めます(A, 図9)。
- 6. スパークプラグのワイヤを(D, 図 8)をスパークプラグ(E)へ接続します。

### 空気フィルタのサービス

図参照:11, 12





燃料やその蒸気は極めて可燃性が高く、爆発しやすい性質を持っています。

火災や爆発により、重篤な火傷を負ったり、時には死亡に至ることもあります。

エアクリーナーのアセンブリ(装備されている場合)や空気フィルタ(装備されている場合)を取り外した状態で、決してエンジンを起動・運転しないで下さい。

**通知** フィルタ清掃時に、圧縮空気や溶剤は決して使用しないで下さい。圧縮空気は フィルタの損傷を起こし、溶剤はフィルタを溶かすおそれがあります。

サービスの必要性については、*メンテナンスのスケジュール*をご参照下さい。

様々な型式ではフォーム材か紙製の何れかのフィルタが使われています。一部のモデルでは、洗って再使用できる予備クリーナーがオプションで装備されています。このマニュアルの図を、あなたのエンジンに設置されている型式及び以下のサービスと比較して下さい。

### フォーム製空気フィルタ

- 1. カバーを開きます(B,図11)。
- 2. フォーム部品を取り除きます(C, 図11)。
- 3. 液体洗剤と水を混ぜたもので、フォーム部品を洗います(C, 図 11)。清潔な布にくるんでフォーム部品を絞り、水気を切ります。
- 4. フォーム部品に清潔なエンジンオイルを染みこませます(C, 図 11)。余分なエンジンオイルを切るために、清潔な布にくるんでフォーム部品を絞ります。
- 5. フォーム部品を取り付けます(C, 図11)。
- 6. カバーを閉めます(B,図 11)。

### 紙製空気フィルタ

- 1. カバーを開きます(B, 図12)。
- 2. フィルタを取り除きます(C, 図12)。
- 異物を取り除くために、固い面に静かにフィルタを打ちつけます(C, 図12)。フィルタの汚れが著しい時は、新しいフィルタに交換します。
- 4. フィルタを取り付けます(C, 図 12)。
- 5. カバーを閉じます(B, 図12)。

### **Service Cooling System**





運転中のエンジンは熱を生じます。エンジン部品、特にマフラーは非常に高温になり ます。

接触による重篤な高温火傷の可能性があります。

木の葉、草、低木の様な可燃性のゴミには火がつく可能性があります。

- 手を触れる前に、マフラー、エンジン・シリンダー、フィンを冷却させて下さい。
- マフラー区域およびシリンダー区域より、蓄積されたゴミを取り除いて下さい。

**通知** エンジンの清掃には水を使用しないで下さい。水は燃料システムの汚染を招く可能性があります。エンジンの清掃にはブラシか乾いた布でご使用下さい。

このエンジンは空気冷却です。埃やゴミにより空気の流れが制限されエンジンの過熱を 招く可能性があり、性能の不良とエンジンの短命化を招きます。

- 1. ブラシか乾いた布を使用して、吸気グリルよりゴミを取り除いて下さい。
- 2. リンケージ、バネ、コントロールをが汚れない様にし下さい。
- 3. 装備されている場合には、マフラーの背後の区域に可燃なゴミが無いようにして下さい。
- 4. 装備されている場合は、オイル冷却フィンに埃やゴミが無いようにして下さい。

一定期間後は、シリンダー冷却フィンにゴミが蓄積してエンジンの過熱を招く可能性があります。このゴミに関しては、エンジンの部分的な分解を行わないと取り除けません。 保守スケジュールに推奨された空気冷却システムの点検と清掃をBriggs & Stratton の認定サービス・ディーラーにご用命下さい。

## 保管





燃料およびその蒸気は非常に燃えやすく、爆発の危険性があります。

火災または爆発による重傷な火傷や死亡の可能性があります。

燃料あるいはタンク内に燃料のある器具の保存

燃料の蒸気に引火する可能性があるので、パイロットランプあるいはその他の点火源を持つ炉、ストーブ、湯沸かし器、その他の器具から離して保管して下さい。

**通知** エンジン・レベル (通常運転位置)を保管して下さい。保守中にエンジンを傾ける場合は、燃料タンクを空にし、スパークプラグ側を上にして下さい。燃料タンクが空では無い状態でエンジンがどの方向にでも傾けられると、オイルまたはガソリンによるエア・フィルターおよび / もしくはスパークプラグの汚染によりエンジンの始動が困難になる可能性があります。

### 燃料システム

燃料は30日以上保管された場合、古くなります。古くなった燃料は、燃料システム中あるいは重要なキャブレター部品中の酸やゴム質の沈着物の原因となる可能性があります。燃料の新鮮さを保つ為には、純正のBriggs & Strattonサービス部品を販売している所で入手可能なBriggs & Stratton Advanced Formula Fuel Treatment & Stabilizerをご利用下さい。

指示通りに燃料安定剤が加えられた場合には、エンジンよりガソリンを抜く必要はありません。保管前にエンジンを二(2)分間運転して、燃料システム中にまんべんなく安定剤を循環させて下さい。

エンジン中のガソリンが燃料安定剤により処理されていない場合は、認定された容器に移して下さい。エンジンが燃料欠乏で停止するまで運転して下さい。新鮮さの維持の為に保存容器中の燃料安定剤の使用を推奨します。

### エンジン・オイル

エンジンが温まっているうちに、エンジン・オイルを交換して下さい。エンジン・オイ ルな塊の頂目を参照

## トラブルシューティング

定かでない場合については、最寄りの代理店にご連絡頂くか、 BRIGGSandSTRATTON.com あるいは次の電話番号 1-800-233-3723 (合衆国内)。

## 仕様

| 型式:80000      |                           |  |
|---------------|---------------------------|--|
| 排気量           | 7.63 ci (125 cc)          |  |
| 口径            | 2.362 in (60 mm)          |  |
| ストローク         | 1.75 in (44,45 mm)        |  |
| オイル容量         | 15 oz (,44 L)             |  |
| スパークプラグのギャップ  | .020 in (,51 mm)          |  |
| スパークプラグのトルク   | 180 lb-in (20 Nm)         |  |
| アーマチュアのエアギャップ | .006014 in (,15 - ,36 mm) |  |
| 取入弁のクリアランス    | .004008 in (,10 - ,20 mm) |  |
| 排気弁のクリアランス    | .004008 in (,10 - ,20 mm) |  |

| 型式:90000      |                           |  |
|---------------|---------------------------|--|
| 排気量           | 8.64 ci (140 cc)          |  |
| 口径            | 2.495 in (63,4 mm)        |  |
| ストローク         | 1.75 in (44,45 mm)        |  |
| オイル容量         | 15 oz (,44 L)             |  |
| スパークプラグのギャップ  | .020 in (,51 mm)          |  |
| スパークプラグのトルク   | 180 lb-in (20 Nm)         |  |
| アーマチュアのエアギャップ | .006014 in (,15 - ,36 mm) |  |
| 取入弁のクリアランス    | .004008 in (,10 - ,20 mm) |  |
| 排気弁のクリアランス    | .004008 in (,10 - ,20 mm) |  |

| 型式:093J00     |                           |  |
|---------------|---------------------------|--|
| 排気量           | 9.15 ci (150 cc)          |  |
| 口径            | 2.583 in (65,60 mm)       |  |
| ストローク         | 1.75 in (44,45 mm)        |  |
| オイル容量         | 15 oz (,44 L)             |  |
| スパークプラグのギャップ  | .020 in (,51 mm)          |  |
| スパークプラグのトルク   | 180 lb-in (20 Nm)         |  |
| アーマチュアのエアギャップ | .006014 in (,15 - ,36 mm) |  |
| 取入弁のクリアランス    | .004008 in (,10 - ,20 mm) |  |
| 排気弁のクリアランス    | .004008 in (,10 - ,20 mm) |  |

エンジン出力は、海抜1000フィート(300メートル)ごとに3.5%低下し、温度が77°F(25°C)以上になると10°F(5.6°C)ごとに1%低下します。エンジンは角度15°までは問題なく機能します。傾斜地で安全に運転できる限界角度については、機器の運転マニュアルをご参照下さい。

| サービス部品 - 型式:80000,90000,093J00 |                |  |
|--------------------------------|----------------|--|
| サービス部品                         | 部品番号           |  |
| 空気フィルタ、フォーム材                   | 799579         |  |
| 空気フィルタ、紙製                      | 798452         |  |
| オイル- SAE 30                    | 100113         |  |
| 燃料添加剤                          | 100117, 100120 |  |
| レジスター・スパークプラグ                  | 692051         |  |
| スパークプラグ用レンチ                    | 19576          |  |
| スパークテスター                       | 19368          |  |

エンジンとエンジン部品の保守やサービスについては全て、Briggs & Stratton認定サービスディーラーにご相談ください。

電力定格個別のガソリン・エンジン・モデルの合計電力定格は、SAE (Society of Automotive Engineers) code J1940 Small Engine Power & Torque Rating Procedureに従ってラベル付けされており、SAE J1995に従って評価されています。トルク値はラベルに"rpm"と表されたエンジン用には2600 RPMで得、その他のものついては3060 RPMであり、馬力は3600 RPMで得ます。総電力曲線はwww.BRIGGSandSTRATTON.COMでご覧下さい。正味電力値は排気およびエア・クリーナー設置で計られ、総電力値でご覧下さい。正味電力がは非気およびエア・クリーナー設置で計られ、総電力値での付属物無しで計られています。実際の総エンジン電力は正味電力より高くなり、周囲の運転条件やエンジンの個体差を含む要因に影響を受けます。エンジンが設置される製品の広範な品数があり、特定の電力器具でガソリン・エンジンが定格電力を出せない場

合もあります。この差については、エンジンの各種構成部品(エア・クリーナー、排気、充電、冷却、キャブレター、燃料ボンプ等)を含みこれに限られない要因によるものであり、適応の限界、周囲の運転条件(温度、湿度、高度)およびエンジン個別の差異によります。製造および容量の限界により、Briggs & Strattonはこのエンジンにより高い定格電力のエンジンで代行する可能性があります。

## 保証

### Briggs & Strattonエンジン保証

2016年1月付け

#### 制限付き保証

Briggs & Strattonは、以下に述べる保証期間、材質又は製作もしくはその双方の面で生じた部品の不具合について、無償で修理又は交換することを保証します。この保証の下で修理又は交換のために送付する製品の輸送費は、購入者が負担するものとします。この保証は、以下に述べる期間及び条件において有効です。 保証サービスについては、BRIGGSandSTRATTON.COMのディーラー・ロケーターマップで、最寄りの認定サービスディーラーをご確認下さい。 購入者はまず認定サービスディーラーに連絡を取り、その後、認定サービスディーラーによる製品の検査と試験を受ける必要があります。

これ以外に明示的保証は存在しません。 商業性及び特定目的への適合を含む黙示的保証については、以下に記載の保証期間もしくは法律によって認められる範囲に限定されます。 偶発的又は間接的な損害に対する損害賠償は、除外が法規によって認められる範囲で対象から除外されます。 一部の州・国では黙示的保証の期間に制限を課すことが認められず、また、一部の州・国では黙示的保証の範囲から偶発的損害又は間接的損害を外することが認められていません。従って、先述の制限や除外があなたに適用されないこともあります。この保証は特定の法的権利を付与するものですが、その他に、州ごと国ごとに異なるそれ以外の権利が認められる場合もあります。

### 標準的な保証条件 1,2

| ブランド/製品名                        | 消費者による<br>使用 | 商業的使用 |
|---------------------------------|--------------|-------|
| Vanguard <sup>™ 3</sup>         | 24 ヶ月        | 24 ヶ月 |
| Commercial Turf Series™、業務用シリーズ | 24 ヶ月        | 24 ヶ月 |
| デュラボア™ 鋳鉄スリーブ付きエンジン             | 24 ヶ月        | 12 ヶ月 |
| その他の Briggs & Stratton製エンジン     | 24 ヶ月        | 3ヶ月   |

<sup>1</sup>これは弊社の標準保証規約です。ただし、今後、本文書の発行時には未定であった追加的な保証対象範囲が加わっている可能性があります。 あなたのエンジンに関する現在の保証規約の一覧については、BRIGGSandSTRATTON.comのサイトで参照して頂くか、最寄りのBriggs & Stratton認定サービスディーラーにお問合せ下さい。

<sup>2</sup> ユーティリティーの代わりとしてプライム電力に使用する装置のエンジンや、商業用の予備発電機用装置に用いるエンジンに対しては、保証は有りません。 自動車レース用のエンジンや商業用トラック又はレンタルトラック用に用いるエンジンには、保証は有りません。

には、保証は有りません。
<sup>3</sup> 予備発電機に設置されたVanguard: 24ヶ月 消費者の使用、商用での使用は保証無し。実用車に設置されたバンガード: 24ヶ月 消費者の使用、24ヶ月 商用での使用。液怜式Vanguard 3-シリンダー: Briggs & Stratton 3/LC エンジン所有者用の保証書参照。

オーストラリアでは - 弊社の製品保証は、豪州消費者法により適用除外が認められていません。 重大な瑕疵については、あなたは代替品の請求や払い戻しを受ける権利があります。また、その他の妥当な範囲で予測可能な損害やダメージについては、損害賠償を受ける権利があります。 また、製品が受け入れがたい品質であり、その瑕疵が重大な瑕疵に至るほどでない場合、あなたはその製品の修理又は交換を請求する権利があります。 保証サービスについては、

BRIGGSandSTRATTON.COMのディーラー・ロケーターマップで、最寄りの認定サービスディーラーを見つけるか、1300 274 447にお電話いただくか、Eメール (salesenquiries@briggsandstratton.com.au)もしくはお手紙(Briggs & Stratton Australia Pty Ltd, 1 Moorebank Avenue, Moorebank, NSW, Australia, 2170)でご連絡下さい。

保証期間は、最初の小売り業者又は消費者が製品を購入した日付から開始します。「消費者の使用」とは、小売り消費者による個人住宅用の使用を意味します。「商用での使用」とは、商業的使用、収益目的での使用、レンタル目的での使用を含め、上記以外の全ての使用を意味します。この保証では、いったんエンジンが商用で使用された後、それ以降の使用は商用での使用と見なされます。

製品購入の証明として領収書を保存して下さい。 保証サービスを請求なさる際、初回購入日を示す書類を提示しない場合は、その製品の製造日が保証期間の決定に使用されます。 Briggs & Stratton製品の保証サービスを受けるのに、製品登録は要求されません。

### あなたの保証について

この制限付き保証は、エンジン関連の材料及び/又は製作面での問題のみを対象とし、エンジンが取り付けられている装置に関する交換や払い戻しは対象に含まれません。 通常のメンテナンス、チューンナップ、調整、正常な損耗はこの保証では対象に含まれません。 同様に、エンジンが改変・変造されている場合や、エンジンのシリアル番号が損なわれたり取り外されたりしてる場合、保証は適用されません。 この保証には、以下によって引き起こされたエンジンのダメージや性能上の問題は対象に含まれません:

. Briggs & Strattonの純正部品ではない部品の使用;

- 不十分な潤滑油や、汚れた、あるいは、不適切なグレードの潤滑油を用いたエンジ ンの運転;
- 汚れた燃料、古い燃料、エタノール成分を10%以上含むガソリンの使用や、液化石 油、天然ガスなど本来はBriggs & Stratton製エンジンの運転用に指定されていない
- エアクリーナーの保守や再組立が不適切なために生じたエンジンへの汚れ侵入;
- ロータリー芝刈り機カッターブレードの対物衝突、ブレードアダプタ、インペラそ の他クランク軸に結合する装備の不適切な取付けや締め付け不足、Vベルトの締め
- 6. Briggs & Strattonの供給品ではないクラッチ、トランスミッション、機器制御部等 の関連部品やアセンブリ;
- 7. 刈り取られた草、泥、細片、齧歯類の巣などが冷却フィンやフライホイール部に詰 まったり、換気不十分な状態でエンジンを稼動したために起きるオーバーヒート;
- スピードの出し過ぎ、エンジン取付けの緩み、カッターブレードやインペラの緩み や不均衡、クランク軸への装備の不適切な取付けによって生ずる、過大な振動;
- 9. 誤った使用、日常的なメンテナンスの不履行、装置の輸送、取扱い、保管、又は、 不適切なエンジンの設置。

保証サービスはBriggs & Stratton 認定サービスディーラーを通してのみご利用頂けます。 BRIGGSandSTRATTON.COMのディーラー・ロケーターマップで、最寄りの認定サービスディーラーを見つけるか、1-800-233-3723 (米国)にお電話下さい。

80004537 (改訂B)

